

次世代の中軌道（MEO）向け衛星通信ユーザー端末（※1）のプロトタイプを初展示

米国ワシントンD.C.で開催の 宇宙技術展示会「SATELLITE 2026」に出展

シャープは、本年3月23日（月）から3月26日（木）まで、米国ワシントンD.C.で開催される宇宙技術展示会「SATELLITE 2026」に出展します。次世代のMEO衛星通信ユーザー端末のプロトタイプを初出展するほか、低軌道（LEO）衛星通信ユーザー端末や各種宇宙用太陽電池も展示します。



高G/T性能MEO向けデザインモデル

■ 主な出展内容

1. MEO/LEO衛星通信ユーザー端末

当社は、スマートフォンの開発で培った通信技術、小型・軽量化技術を活用してMEO/LEO衛星通信ユーザー端末の開発を進めています。山間部や海上などのセルラー通信が届きにくい環境でも安定した通信手段を確保し、自動車や船舶、ドローンなどのモビリティ用途での活用も実現します。

・次世代MEO向けプロトタイプ【初出展】

衛星通信事業者であるSES S.A.（※2）の次世代MEO衛星通信ネットワークに適合するよう設計したユーザー端末のプロトタイプです（SES社のネットワークでの使用認証は未取得）。通信には高周波帯域であるKa帯（※3）を採用し、高速・大容量通信とアンテナの小型化を両立します。

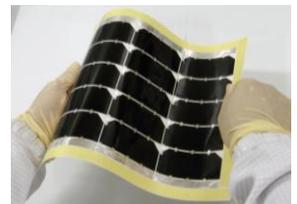
・高G/T性能（※4）MEO向けデザインモデル【初出展】

MEO衛星通信での利用を想定した高G/T性能デザインモデル。当社ラインアップの中で最大サイズ（約73cm×62cm）であり、受信感度の向上と安定した通信品質の確保を目指しています。

● 端末の開発は、国立研究開発法人情報通信研究機構（NICT）からの助成を受けています（JPJ012368G50501）。

2. 宇宙用太陽電池

軽量で曲面への搭載にも対応する「フィルムシートタイプ」、特殊ガラスで表面を保護することで高い耐放射性や高効率・軽量性、湾曲性を兼ね備え、惑星探査などの長期ミッションに適した「ガラスシートタイプ」、ならびに各セルをカバーガラスで封止したCIC（Coverglass Integrated Cell）構造の「ガラス封止セルタイプ」と、用途に応じた3タイプの化合物太陽電池を出展します。



フィルムシートタイプ

■ 出展場所：Walter E. Washington Convention Center 3213 booth（米国ワシントンD.C.）

「SATELLITE 2026」について（英語）

<https://www.satshow.com/>

当社の衛星通信に関する情報は、以下のウェブサイトでもご覧いただけます。

https://jp.sharp/business/lp/satellite_ut/

※1 衛星通信アンテナやモデム機能などを統合した端末です。MEO：Medium Earth Orbit（中軌道）、LEO：Low Earth Orbit（低軌道）の略。
※2 本社：ルクセンブルク ベッツドルフ、CEO：Adel Al-Saleh
※3 主に衛星通信で利用される約26.5～40GHzの高周波帯域。
※4 Gain to noise temperature ratio（G/T）。アンテナの受信能力を示す指標で、数値が高いほど微弱な電波を安定して受信できます。

<シャープについて>

シャープは、110年以上にわたり、エレクトロニクスを中心に、多くの世界初・業界初の革新的な製品や技術を開発してきました。経営信条「二意専心 誠意と創意」に基づき、コーポレートスローガン「ひとの願いの、半歩先。」を定め、人々の「暮らす」と「働く」のあらゆるシーンに寄り添う独創的なモノやサービスを通じ、「新しい文化」を創造する企業を目指しています。

【 ウェブサイト 】 <https://corporate.jp.sharp/> (画像ダウンロード <https://corporate.jp.sharp/press/>)
【 本 社 】 〒541-8522 大阪府大阪市中央区久太郎町2丁目1番25号